

兵庫県水産技術センターだより

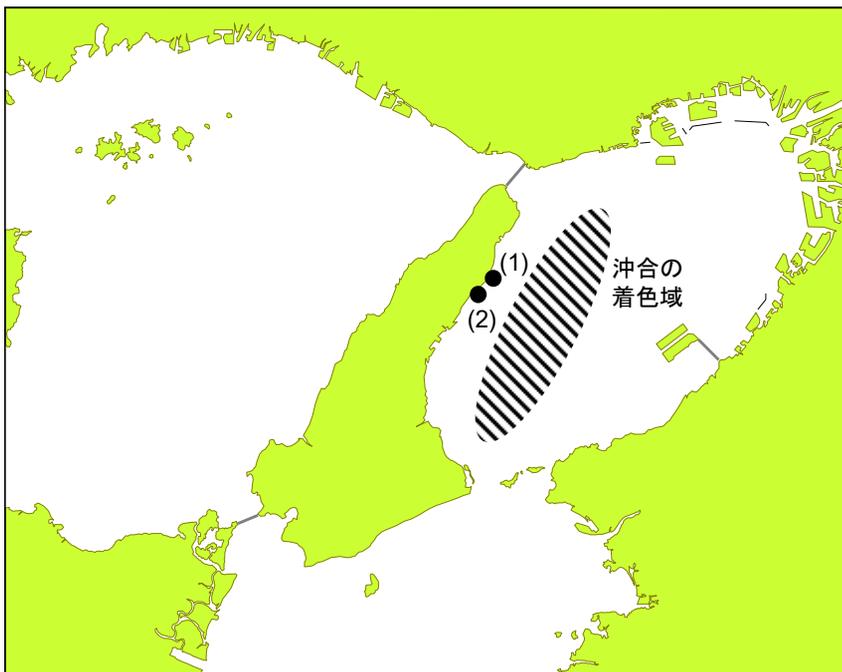
赤潮情報 AK-01-11 号(大阪湾・臨時調査)

令和元年8月7日発行

8月7日に赤潮プランクトン調査(大阪湾・臨時)を実施しましたので、その結果をお知らせします。

【概況】・大阪湾で、魚類を斃死させる有害赤潮種のカレニア・ミキモトイが高密度発生しています。

- ・本種は、7月下旬頃より大阪湾東部沿岸域で増殖していましたが、今週に入って大阪湾の中央部・西部に拡散している傾向が見られています。
- ・8月6日の水産庁瀬戸内海漁業調整事務所による飛行観測でも、大阪湾中央部で黒褐色～茶褐色の着色域が確認されています(図中の着色域：概略範囲)
- ・活魚の運搬や漁船の航行に際しては十分にご注意ください。また、高密度化した海域(港湾内等)では、赤潮消滅後の酸素欠乏にもご注意ください。



カレニア(ギムノディニウム) ミキモトイに警戒を!

- ・魚類養殖を行っている地区では、海水が黒褐色～茶褐色に変色している場合や魚の様子がおかしいと思われる場合、餌止め等の処置を行って下さい。
- ・魚の畜養等にも十分注意し、活魚を積んだ漁船の航行に際しては、変色した海域を避けるなどの対策を講じて下さい。

注意が必要な赤潮プランクトンの密度

シャットネラ・アンティーカおよびマリーナの合計値

注意体制： 10細胞/ml 警戒体制： 100細胞/ml

カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ

注意体制： 500細胞/ml 警戒体制： 5,000細胞/ml

ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ

注意体制： 50細胞/ml 警戒体制： 500細胞/ml

赤潮プランクトン調査結果(海水1ミリットルあたりの細胞数)

調査地点	水深(m)	ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ	カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ	シャットネラ・アンティーカおよびマリーナ	シャットネラ・オバータ	シャットネラ・グロボサ	シャットネラ・ベルキウロサ	ココロディニウム・ポリクリコイテス	ヘテロシガマ・アカオ
(1) 港内	0	0	3,100	0	0	0	0	0	0
(2) 港内	0	0	650 ~37,000	0	0	0	0	0	0

【今後の調査予定】

- ・調査結果がまとまり次第「赤潮情報第AK-01-12号」としてお知らせします。

※調査日と発行日に誤りがありましたので、修正しました。

§お問い合わせ先§ 兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター(担当:水産環境部 宮原、中桐)
Tel: 078-941-8601 Fax: 078-941-8604 Homepage: <http://www.hyogo-suigi.jp/>